



どんなことでもあいをもってしよう。



フオコラーレ
focolare.org/japan

すべてのことをあいのうちにおこないなさい。
(Iコリント16, 14)



イエスさまのふっかつのあと、いろんなまちに、クリスチャンのグループができました。しとたちは、たくさんたびをして、みんながイエスさまのおしえをいけるように、たすけています。パウロは、コリントのクリスチャンたちにてがみをかいています。

おおきなあいをもって、たすけをひつようなひとたちのため、よぶんなものをとっておくように、そして、よろこびのうちにたくさんにひとたちに、イエスさまのことばをつけるようにとっています。

さいごまであいて、どんなことでもあいをもってすることをわすれないように、このようにあいてついています。「すべてのことをあいをもっておこないなさい。」そうです、なぜなら、あいだけがイエスさまのともだちであるとわからせてくれるからです。



ジャネットはスロベニアにすんでいます。あるふゆのにちようび、パパがいました。「さむいけどすてきなひになるよ！ いっしょにもりにいってくる？ いろんなやぎたちにほしくさをやらなければいけないから！」

まだあさはやくで、ジャネットはまだあまくて、あつかいえいいたいとおもいました。でも、パパはおてつたかひつよう、とおもいいいっしょにふくをきてでかけ、はじめのところにつくと、あいをもってほしくさをゆるるためのふくろをひらきつけました。

べつ、かこいのところにつくと、マルチンにいました。かれは、ジャネットのともだちのじえん4です。「ほくもてつだうよ。」いっしょにすることはもってすてきです！ しごとはずぐにおわって、そのあとゆきがかっせんであそびました！